

日本体育大学医療専門学校 2019年度学校関係者評価 報告書

1. 日時 2019年10月24日（木） 16:00～18:00

2. 場所 日本体育大学医療専門学校 会議室

3. 参加者（順不同）

学校関係者評価委員

| | |
|----------|---------|
| 日体幼稚園園長 | 鈴木 幸江 氏 |
| 荏原医院院長 | 荏原 包臣 氏 |
| 同窓会会长 | 難波 英樹 氏 |
| おおくら歯科院長 | 大倉 一徳 氏 |
| 伊東歯科院長 | 伊東 將悦 氏 |
| 中野歯科 | 中野 良介 氏 |
| 二子玉川小児歯科 | 松永 幸裕 氏 |

事務局

| | |
|-----------|-------|
| 整復健康学科学科長 | 吉田 裕輝 |
| 口腔健康学科学科長 | 廣川 香 |
| 事務長代行 | 門田 誠 |

4. 学校関係者評価委員会概要

平成 30 年度自己評価報告書を中心に、評価・意見を聞いた。

| 評価項目 | 評価・意見 | 今後の改善方策等 |
|-------------------|--|---|
| 1. 教育理念・目的・育成人材像 | 教育理念、目的は明確化されている。理念・目的・育成人材像を、外部（保護者、関連業界等）に周知する必要がある。 | WEB サイト等を通して、段階的に外部に周知していく。 |
| 2. 運営方針・事業計画 | 事業計画に基づき適正に学校運営されている。一方、口腔健康学科の入学者増加が喫緊の課題 | これまでの募集活動をデータ化し、有効かつ効率的な広報・募集活動を展開していく。 |
| 3. 教育活動・学修成果・学生支援 | 整復健康学科においては、高い国家試験合格率を誇ってきていたが、国家試験の難易度が上がっていること等から、若干低下傾向にある。夜間部廃止により、昼間部に注力できるのでは。口腔健康学科は次年度初めて卒業生を輩出する予定。全員合格を目指してほしい。 退学者減少への取り組みが上がっている。前年度より減少しているが、まだ少ないとはいえないのでは。 | 学生のモチベーションを落とさず、補修や個別相談等、きめ細かい対応で全体のレベルを上げていく。 退学者については、学生・教員間だけでなく、学生・学生間でも相談がしやすい仕組みを作っていく。個別相談については一定の効果が得られたと感じているため、継続していく。 |
| 4. 教育環境 | 施設・設備は整っているため問題ない。 衛生対策、防災対策についてより検討すべきではないか。 | 施設・設備については、築年数により一部老朽化している箇所もあり、今後も学生の安全を第一に対応していく。 また、教育向上のため、機器の点検・更新も順次行っていきたい。 インフルエンザ対策として手洗い、うがいだけでなく、医療関係者として消毒等の推進をしていく。 防災対策については、今年度は大地震を想定した防災訓練を行った。避難経路や避難場所について確認するだけでなく、教職員・学生ともに積極的に参加できた。 賞味期限が切れていた防災備蓄を廃 |

| | | |
|--------|--|---|
| | | 棄し、年度毎に更新する防災備蓄に切り替えた。 |
| 5. その他 | <p>運営については、資金がまだ残っているため大きな問題となっていないが、口腔健康学科の定員充足が喫緊の課題となっている。教職員一丸となって定員充足に近づけるよう努力をしてもらいたい。</p> | <p>令和2年に完成年度を迎える初めの卒業生を輩出する予定。国家試験の合格率がひとつのPRポイントとなるため、教員と学生がガッチャリとスクラムを組んで全員合格を目指していきたい。</p> <p>また、整復健康学科においては、口腔健康学科設置と同時に定員数を60名から30名に減少させた。一方、受験生の需要は高く、高い志を持ち、優秀な人材を取りこぼしている現状がある。定員増加の可否について検討していく予定。</p> |